

DEP10 取扱説明書

DEP10<エレクトロニック デジタル ポジション インジケータ>は、プログラミングやパラメーター設定/変更を直接製品のキー(ボタン)操作で行うことができます。
以下の手順に沿って取付け及びパラメーター設定を行ってください。

1. 取付け

取付けの際には、製品の保護等級を考慮した場所で使用してください。必要に応じて、噴霧水、塵芥、殴打、極端な温度のような環境上の影響から製品を保護してください。

- ・シャフトと DEP10 のはめあいを確保してください。
- ・シャフト補正や角度補正がほとんどないように注意してください。
- ・歪みはベアリング荷重の増大、過度の加熱および製品寿命の短縮に繋がりますので、歪みがないように取付けてください。
- ・製品を強打することはお止めください。

2. 設置場所と予防措置

- ・使用に際しては、誘導的あるいは容量的障害が装置に影響を及ぼすことがない場所を選んでください。障害は、電源装置、スイッチ機構付き制御器あるいはその他の接触器のスイッチを入れることが原因で引き起こる場合があります。
- ・必要な予防措置としては、装置と障害を引き起こす可能性のある接続線の距離をできるだけ離してください。

3. 供給電源

本製品は電池式で、乾電池<単 4 形>の寿命は約 2 年です。

液晶ディスプレイに電池マークが点灯したら電池寿命です。(暫くの間は使用可能)

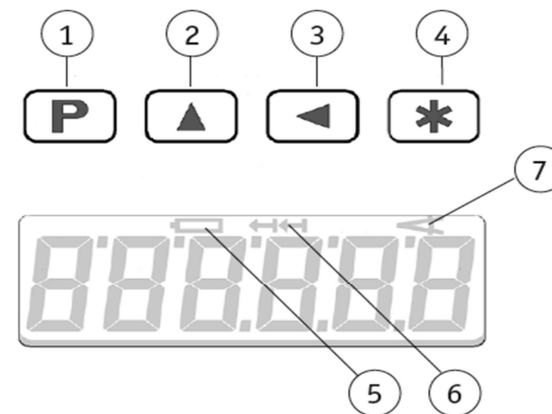
【電池交換】

- ・液晶ディスプレイ下側の電池格納ケースを真っ直ぐに引き出す。
- ・単 4 形乾電池を交換して下さい。電極の向きに注意願います。
- ・電池格納ケースは、内部の接点用部品が変形しないよう真っ直ぐ完全に押し込み、液晶表示にて機能を確認してください。
- ・電池交換によりパラメーターが消失することはありません。

ソフトウェア編

4. キーの機能

操作モードによってはキーの機能が付加されます。(5 項と 7 項を参照)
キーは単独か二つ同時に押してください。



- | | |
|-----------|---------------------------------|
| ① プログラミング | ⑤ 表示：電池交換 |
| ② 「値」の選択 | ⑥ 表示：インクリメンタル機能 |
| ③ 「桁」の選択 | ⑦ 表示：角度仕様 モード 0. 0 ... 3 6 0. 0 |
| ④ 値の保存 | |

5. プログラミング モード

パラメーター変更やプログラミングにはプログラミングモードに入ってください。

通常、プログラミングは初期インストール時しか必要ありません。

パラメーターはいつでも変更や確認ができ、非揮発性メモリに保存されます。

各パラメーターの意味、機能、値範囲は末尾の「パラメーターリスト」に記載されています。

5.1 プログラミング モードに入る

- ・**[P]** のキーを 5 秒以上押す。
パラメーターリストの“Pin”(認証番号設定)を“on”にした場合のみ
- ・**[▲]** と **[◀]** のキーを使ってコード 3 9 4 0 を入力する。
- ・**[✱]** のキーで確認する。
規定値の設定では、コード入力の必要はありません。

5.2 プログラミング モードから出る

- ・パラメーターリストの末尾に達するまで **[P]** のキーを押す。
およそ 3 0 秒間どのキーも押されない場合は自動的に出ます。

5.3 パラメーター情報をスクロールする

- ・**[P]** のキーを使用する。

5.4 パラメーターを変更する

- ・**[▲]** のキーと **[◀]** のキーを使用する。

5.5 変更したパラメーターを保存する

- ・**[✱]** のキーを押す。「-S t o-」メッセージが短時間表示される。

6. パラメーターの説明

末尾のパラメーターリストを参照してください。

7. インプット モード <<基本キー(ボタン)操作>>

7.1 リセット機能

 のキーを押して表示を基準値に合わせる。

「遅延リセット機能」パラメーター (5_SEc) が「オン」にプログラムされると、表示はおおよそ5秒後に基準値にセットされる。

必須条件:

プログラミング モードでの「リセット有効」パラメーター (rESEt) は必ず「オン」にプログラムすること。但し、プログラミング モードのままにしないこと。

(5.2 項の「プログラミング モードから出る」を参照)

7.2 インクリメンタル測定

 と  の矢印キーを同時に押してインクリメンタル測定機能を始動してください。

表示をゼロにする。

シンボル ←I←I が表示される。

 と  の矢印キーをもう一度同時に押してインクリメンタル測定機能を解除する。

アブソリュート測定値が再度表示される。

インクリメンタル測定モード中に、 のキーを押して表示をゼロにセットすることもできる。

これによって、バックグラウンドのアブソリュート測定が変更されることはない。

必須条件:

プログラミング モードでのメニューポイント「インクリメンタル測定有効」(Fcett) は必ず「オン」にプログラムすること。但し、プログラミング モードのままにしないこと。

(5.2 項の「プログラミング モードから出る」を参照)

7.3 オフセット値変更

 と  のキーを同時に押して新しいオフセット値を入力してください。

表示されたオフセット値は二つの矢印キーで変更できます。

入力したオフセット値を保存するには  のキーを押してください。

おおよそ30秒間どのキーも押されない場合や  のキーが再度押された場合は、DEP10 インジケーターは表示モードに戻ります。

必須条件:

プログラミング モードでのメニューポイント「オフセット インプット有効」(F_oFS) は必ず「オン」にプログラムすること。但し、プログラミング モードのままにしないこと。

(5.2 項の「プログラミング モードから出る」を参照)

8. トラブル・シューティング

エラーの状態が認識され、ディスプレイに表示されます。

- メッセージ: full
意味: ディスプレイのオーバーラン
処置: パラメーターを確認し、必要に応じて調整する。表示を基準値に合わせる (7.1 項を参照)
- メッセージ: 表示の点滅
意味: 基準が欠如
処置: 表示を基準値に合わせる (7.1 項を参照)
- シンボル: 電池シンボルが表示される
意味: 電池の電圧量が許容値を下回っている
処置: 電池交換 (3. 項を参照)
- メッセージ/効果: ←I←I が表示される/DEP10の基準設定ができない。
意味: 表示はインクリメンタル測定機能のみである。
処置: 7. 2 項に従ってインクリメンタル測定機能を解除する。

9. パラメーターリスト

表示	選択	既定値	意味
APU	0 ... 199999	100	1回転後の測定値
dIV	1, 10, 100, 1000	1	表示ディバイザー (非表示の桁数選択)
dEZ	0, 0.0, 0.00, 0.000	0.0	小数点位置
dlr	I, E	I	カウント方向 (I: 右回転でカウントup, E: 左回転でカウントup)
modE	LIn, 360	LIn	リニアまたはアングル測定(0.0 ... 360.0)
oFFSEt	-99999 ... +99999	000000	オフセット値
cAL	-99999 ... +99999	000000	較正值 (設定不要です)
rESEt	on, off, 5_SEc	on	リセットを有効にする <5_SEcは、5秒遅延リセット>
F_oFS	on, off	on	オフセット値変更を有効にする
FcEtt	on, off	on	インクリメンタル機能を有効にする
Pin	on, off	off	暗証番号(PINコード)設定。プログラミング モード開始時
diSPL	0, 180	0	取付位置 02, 04(カタログ参照)